

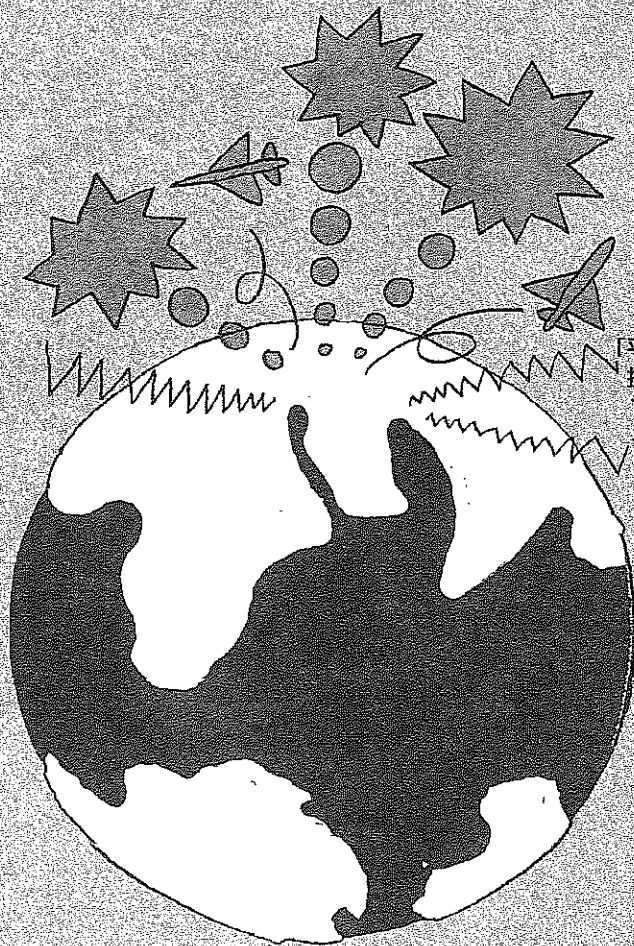
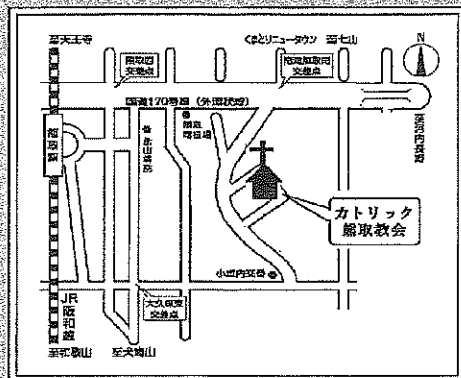
8月5日（日）午前9:30

平和祈願ミサ

司式とお話 マウロ・モラレッティ師
(聖ザベリオ宣教会司祭)



場所 カトリック熊取教会



1981年当時の教皇ヨハネ・パウロ二世が「平和の使者」として来日し、広島で「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」と言われて以来、戦争を振り返り、平和を思う期間として定着しました。これが平和旬間です。

神父さまの祖国イタリアは、第2次大戦当時、日本とは日独伊三国同盟として、身近な国でした。真珠湾攻撃後、日本は太平洋戦争に突入し、同盟国のドイツ、イタリアもアメリカに宣戦しました。

けれども米英連合軍に上陸され、当時の首相ムッソリーニは失脚、1943年9月にイタリアは無条件降伏で終戦を迎えました。

神父さまの生きた戦火の祖国、そして人生を決めた召命のお話をうかがいます。

2018年平和旬間

2018 大阪西区平和旬間
平和な世界という夢を分かち合おう
- 排除のない世界を求めて -

連絡先：
072-452-4680